

学年	区分・学科・実習	科目名	総時間	期
2	専門科目 学科	自動車整備 電装	64	前期 後期
使用教材		担当(実務経験 有り・無し)		
2級ガソリン自動車エンジン編 2級シャシ編 電装品構造		吉田研三(有り) 整備職		
目的				
<p>学習の目的</p> <p>電装品の構造・作動の理解</p> <p>到達目標</p> <p>国家試験70%以上の理解 (国家試験合格が目標)</p>				
内容				
<ul style="list-style-type: none"> ● 詳細は教育計画および進行表のとおり。 				
備考欄				
<ul style="list-style-type: none"> ● 成績は学則の採点基準に従い、優・良・可・不可の4段階にて評価する。 (参考資料 「試験・成績」を参照) 				

年間計画{令和4年度・後期}

第2学年A・B組 区分:学科 科目:電装整備 予定時間(32.0H) 担当

項目	内容	計画回	予定時間	実施日	実施時間
点火装置	マイクロ・コンピュータ式点火装置 概要 各センサ バキューム・センサ、エアフロー・メータ他	1回	1.0		
	制御回路 (各回路の作用) 波形整形、過電圧保護、過電流保護 ドライブ、ロック防止、フェイルセーフ信号	2回	1.0		
	実際の制御 基本進角 補正進角	3回	1.0		
	練習問題	4回	1.0		
	中間用まとめ(点火装置)	5回	1.0		
予熱装置	グロー・プラグ式 急速グロー (グロー・プラグの種類) (回路の作動) 自己温度制御型 セラミックス型	6回	1.0		
	インテーク・エアヒータ式 回路の作動及び点検	7回	1.0		
空気調和装置 (オート・エアコン)	概要 内気センサ、外気センサ、日射センサ、エバポ・センサ	8回	1.0		
	吹き出し温度制御、吹き出し口制御 風量制御	9回	1.0		
多重通信	CAN通信の種類及び構造 整備上の注意事項	10回	1.0		
SRSエアバッグ	概要及び構造作動 (点検時の注意事項) 構成部品 エアバッグ・アッシ、SRSユニット ケーブル・リール、SRS警告灯	11回	1.0		
	中間用まとめ(予熱～エア・バッグ)	12回	1.0		
プリテンショナ・シート ベルト	概要及び構造作動 整備概要及び注意点	13回	1.0		
ナビゲーション・ システム	概要 GPS航法、自立航法、マップ・マッチング航法	14回	1.0		
中間試験	中間用まとめ(シート・ベルト～ナビ)	15回	1.0		
	中間試験	16回	1.0		
	中間試験解説	17回	1.0		
JAMCA対策	JAMCA対応練習問題	18回	1.0		
電気回路	ZD及びTr回路	19回	1.0		
発振回路	LC発信の論理	20回	1.0		
警報装置	ストップ・ランプ・バルブ切れ警報装置	21回	1.0		
	論理回路	22回	1.0		
発振回路	発振とは、LC発信の論理	23回	1.0		
	CR発信の論理	24回	1.0		
方向指示器	概要 (システム図及び作動の特徴) トランジスタ式フラッシュの作動(回路図により)	25回	1.0		
クーリング・ファン	多段階式クーリング・ファンの構造・作動	26回	1.0		
各種スイッチ	油圧ゲージの構造作動	27回	1.0		
	油圧及びストップランプ・スイッチの構造作動 リード・スイッチの構造作動及び使用例 エアコン用圧力スイッチの構造作動	28回	1.0		
ホーン	ホーンの構造・作動	29回	1.0		
	卒業試験用まとめ	30回	1.0		
卒業試験	卒業試験	31回	1.0		
復習	2級練習問題及び解説	32回	1.0		
合計			32.0		